Creative Enzymes®

C末端処理ペプチダーゼ

Cat. No. EXWM-4097

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	光合成系IIのD1タンパク質のプロテオリティック処理は、光□動型の四核マンガンクラスターの組み立てを可能にするために必要であり、これは光合成水酸化に責任を負っています。基質の認識はPDZドメインによって媒介され、これはパートナータンパク質の内部またはC末端配列に結合することによってタンパク質間相互作用を促進する小さなタンパク質モジュールです。ペプチダーゼファミリーS41のタイプ例。
別名	CtpA遺伝子産物（Synechocystis sp.）；光合成系II D1タンパク質処理ペプチダーゼ；プロテアーゼRe；尾特異的プロテアーゼ；Tspプロテアーゼ

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.4.21.102
CAS登□番号	216484-75-2, 92480-11-0
反□	その酵素は、C末端トリペプチドXaa-Yaa-Zaaを特異的に認識します。このとき、Xaaは好ましくはAlaまたはLeu、Yaaは好ましくはAlaまたはTyr、Zaaは好ましくはAlaですが、その後C末端から可□距離で切断します。典型的な切断は-Ala-Ala┼Arg-Ala-Ala-Lys-Glu-Asn-Tyr-Ala-Leu-Ala-Alaです。植物のクロロプラストでは、酵素は光合成系IIのD1ポリペプチドのC末端□張部分を除去します。
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期間は +4 ℃ で保管してください。長期間保管する場合は -20 ℃~-80 ℃ で保管してください。